

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	プライマリーclubゆりの樹		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2025年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26人	(回答者数) 14人
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2025年 1月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ワークショッププロジェクトを通して、実行機能向上を目指す5領域に沿った、高学年向けのカリキュラム。	①接客②出店③制作④教える と4つのテーマに沿った実行力・計画力が育めるカリキュラム作りを行っている。	週に数回利用する児童が飽きないよう、設問やプリントを適宜変更したり増やしたりしている。本やネットを利用し、実行機能向上に必要な情報の収集
2	高学年向けのイベント	公共交通機関を利用したイベントや 様々な調理器具を使った調理イベント等 今後の生活に活かせるようなイベントを企画している。	イベント先や内容がワンパターンにならないよう 常に情報の収集を行い、スタッフ間で新しいイベント先や内容の共有を図っている。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との関わりや保護者同士の交流が少ない	新型コロナウイルスをきっかけに交流がなくなり、 地域で開催されているイベント等へも時間が合わず 参加ができていない。 また、茶話会も開くことができていない	ワークショッププロジェクトで地域のお祭りへの出店 保護者参加型イベントの企画や茶話会の実施
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 プライマリーclubゆりの樹

公表日 2025年3月31日

利用児童数 26人

回収数 14人 (53.8%)

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	5	1		もう少し広いといいです。 身体を動かすには少々狭いのではと 思います。そこ以外で他に気になる 所はないです。	基準に定められたスペース以上の広さを 確保しておりますが、必要に応じて他施 設を借りる等引き続き工夫して対応致し ます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14					基準に定められた人員を確保し、配置し ておりますが、児童の特性や人数に応じ て配置を配慮できるよう努めます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	4				身体的な不自由を抱えた方は利用対象 としておらず、構造上段差もありバリアフ リー化はされていません。児童が見通し をたえられるよう活動内容を掲示した り、場面に応じて視覚的支援等児童が理 解しやすいよう工夫を行っています。児 童の特性に応じた環境上の配慮は今後も 継続していきたいと思ひます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	2				活動で使用した道具や室内、車内の掃 除、消毒は毎日実施しております。エア コンの掃除や活動中に換気や加温など の感染症対策も実施しています。
適 切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	14					日々の様子やアセスメントを基に、児童 一人ひとりの課題に合う支援方法を提 供できるよう共有しています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	14					2025年2月にホームページに公表致しま した。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	14					3月よりアセスメント様式を見直し、 よりニーズや課題を客観的に分析し個別 支援計画を作成できるよう努めます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思ひます か。	13	1				令和6年度よりガイドラインに沿った必 要な項目を設定し個別支援計画の策定を 実施しています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思ひますか。	13	1				毎日記録する画面で計画書を確認しなが ら支援できるようにしていますが、実際 の支援では計画書内容の視点、支援がぬ けてしまっていると感じる場面もあるた め、計画内容を実際に支援に落とせるよ う共有方法を再度要検討致します。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思ひます か。	14					イベントや作品作りがあるので、先 生方が考えてくださっているんだろ うなと思ひます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	7	4	3			放課後児童クラブや児童館との交流公園 に外出した際や、おでかけのイベントの 際には地域の他の子どもとの交流はあり ますが積極的な交流活動はできておりま せん。ワークショッププロジェクトを通 じて合同イベント等は企画いたしますの で、ぜひご参加ください。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。		14					契約時にご説明した重要事項説明書が運 営規定の内容となっております。また、 支援プログラムにつきましては2025年2 月にホームページに記載いたしました。
	13 「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	1				モニタリング結果と共に、計画書の目標 等ご説明をしておりますが、ご不明点や 疑問点があればいつでもお問合せを頂 けたらと思ひます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	9	2	3			ご家族向けのプログラムは実施しており ませんが、イベント等のご参加は今後も お声掛け致しますので、ぜひご参加く ださい。また、研修会や情報提供等のお知 らせも今後はHUGマイページから行える よう努めてまいります。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	14				個別支援計画を基に、特性や課題について共通理解を図っています。日々の様子については、送迎やお電話にてお伝えしたり、HUGマイページにて記録をお伝えさせて頂いておりますので、気になることがございましたらいつでもご連絡下さい。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	4	1		定期的に、面談を事業所から提示してくれると助かります。こちらからだと、いつぐらいに面談を申し込めばいいのかよくわからないので、送迎時やお電話での相談、面談の実施等にて相談も受け付けております。相談時には保護者様や児童の不安や疑問を解決できるよう努めてまいります。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14					集団カリキュラムを通して、将来の自律を目指して児童一人ひとりの課題や目標に応じた支援を実施しています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされているか。	4	6	4		中々難しいところだと思いますが、年にスカイ保護者同士の交流の機会があると良いと思います。	父母会や保護者会などは開催出来ておりません。きょうだいや保護者様参加型のイベント等は開催の際にお声掛けさせていただいておりますので、ぜひ交流の機会としてご参加ください。また、きょうだいのご相談も合わせて行うことが出来ますので、面談もご相談ください。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	4				いつも子供が伝えたいこと言いにくいことの相談にのってくださり、保護者に説明や時にアドバイスをくれるので助かっています。	ご要望等があった際には事業所として対応できるよう体制を整えております。ご相談があった際には早期の対応を心がけてお不安や疑問が解消されるよう努めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14						児童の特性に合わせて、必要に応じて視覚、聴覚情報を組み合わせて支援するようにしています。保護者様へのお知らせは、お手紙やお電話、HUGマイページでのお知らせを使い分けながら複数回お知らせできるよう努めていますが、漏れのないよう配慮致します。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14						下記内容が閲覧できます。 ホームページ：自己評価、支援プログラム、重要事項説明書、営業所情報 Instagram、ブログ：活動の様子、お知らせ HUGマイページ：お子様の様子、お知らせ、安全計画等
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14						個人情報とは適切に取り扱い、職員とも同意書を交わし、取り扱っております。ボランティアや実習生等外部の人を迎える場合は必ず個人情報の注意事項に同意いただいております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	2				厚生労働省、こども家庭庁の通知に従い、各種マニュアルを整備しています。保護者様には契約時又は、訓練時に都度ご説明しております。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	2				非常災害用リュックを営業所で準備し、避難訓練は地震と火事を想定して年2回実施しています。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14					安全計画と防犯安全対策指針マニュアルを整備しております。安全計画についてはHUGマイページにて4月に公開し、防犯訓練を年1回実施しています。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1				怪我や体調不良を含む児童の変化については、送迎時口頭、電話、メール等でお知らせしています。連絡がつかない場合は何度かご連絡する場合もございますので、ご了承下さい。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14					お子様が安心して過ごせる場所として、これからも環境整備及び児童の特性や年齢に配慮できるよう努めてまいります。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14					年齢や特性以外にも思春期にさしかかり、来るのが億劫と感じることもあるようですが、基本的には楽しく通っていると思います。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	14					日頃より事業所の運営にご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。児童の自律の為これからもより良い支援を提供できるよう精進いたします。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		プライマリーclubゆりの樹		公表日		2025年 3月 31日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		4	1
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		4	1	送迎時に必ず添乗がつけられると何かトラブルが起きても2人で対応出来るので安全だと思う	適切な人数を配置しているが、下校時間が重なったりすると送迎をまわすのが難しいときもある。スタッフが十分な人数出勤していないということはないが、特定の児童の対応のため1人が外に出たり事務作業のために事務所に入ったりするスタッフがいると目が行き届かないことが不安。基準で定められた児童指導員と加配の指導員を配置しているが、児童の特性や人数に応じて配置数を考えていきたい。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		5		絵などを利用してさらに情報伝達しやすくしていきたい。 視覚支援など配慮を行っている 身体的に不自由な児童はいないが、衝動性の高い児童が多いため危険なものや大事なものの扱いには気をつけていると思う。	身体的な不自由をう変えた方は利用対象としておらず、構造上段差もありバリアフリー化はされていません。児童の特性に応じた環境上の配慮は今後も継続が必要	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		5		清潔な空間を維持できるようにしている	加湿器の出力が広さに対して少し弱い。乾燥しがちである。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		4	1	必要に応じて静養室や相談室で過ごせるようにしている	部屋数ないし、音声的に分けられる場所が必要である。 必要に応じて静養室や相談室で過ごせるようにしているが、認めすぎだと思う。必要な場合に限るようもう少し強化して欲しい。 クールダウンできる環境が整っていない	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		5		ノウハウのデータベース化、共有を進めたい。 担当者会議の際にあわせて、出勤している職員全員でミーティングを行っている 定期的なMTGが行われている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5		毎年行っている。 案を職員間で出し合い、可能な限り改善に繋げている 集計結果を営業所内で共有している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5		毎年おこなっている。 朝礼や終礼、ミーティングの際に意見を出し合っている 定期的なMTGを行い、改善に向けてルールの変更などをみんなでやっている。ただ、全員MTGのスイッチを入れないと円滑な意見交換ができず、日頃の会話の中ではそれに乏しいと思う。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3	2	保健所の実地指導などでの評価結果について検討、改善に繋げている。法令順守のため、顧問弁護士に相談を実施しています。	第三者の評価については実施しておりませんが、必要な際には第三者の外部評価も検討いたします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		5		毎月法定研修、放課後等デイサービスとしての研修を行っている	受け答えや、対応などの実践的な練習の場がほしい。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		5		大目標から小目標に分けるなどスモールステップを作り、体験、評価ができるようになっている。 職員間で検討し、支援プログラムを作成している MTGで共有し、意見を出し合っている	

適切な支援の提供	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		各児童について、担当者会議等でそれぞれ現状の課題や達成点について評価を行い、計画作成に繋げている 保護者との面談の機会もあり、スタッフも一人一人に時間をかけて話し合っていると思う	学校との連携の場をつくっていきたい。また定期的に保護者同士の会話の場がほしい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		全職員の話し合いのもと、検討が行われている MTGで意見を共有している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		個別の目標についての対応などを全員がおなじようにできるよう共有をより深めていきたい。 支援計画の作成に際して、課題や目標について児発管を中心に共有が行われ、それをもとにした支援を行っている	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	フォーマルなアセスメントに、備考としてインフォーマルなアセスメントをとりまとめている	フォーマルアセスメントの基準をより、医学的根拠にもとづいたものにしていきたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		学校、家庭とより連携できるよう、わかりやすくまとめた設定をすすめていきたい。 設定されている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	複数人で立案・改善を行っている。 各プログラムの担当となる職員を中心に、全職員で検討や共有を行っている	カリキュラムの作成については一部のスタッフに偏ってしまっている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		細かい改善をかさねている。 プログラムによって各週や2ヶ月単位などで変化させ、固定化しないようにしている カリキュラムを営業所で作っているため、変化が出るようには考えている	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		行われている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		当日および、事前にも打ち合わせを行っている。 朝礼で共有事項を必ず確認し、各職員で支援に繋げている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	終礼にて振り返り、共有をおこなっている。 終礼時に、共有事項について確認し、各職員で共有と検討を行っている	全スタッフで共有できるよう送迎の関係で参加できない場合は、連絡ツールを活用して行くことが必要。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		記録のとり方について年一回以上研修を行い、検証・改善に役立てている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		前回のモニタリングより6か月以内に必ずモニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		4つの基本活動を5領域にあてはめ、複数にまたがるように支援をおこなっている。 行っている	
25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		買い物学習や、ワークショップ体験などを通じて自己決定力を身につけられるよう支援している。		
関係機関や保護者との	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		休み時間やカリキュラム中の支援で特に接する機会が多い指導員も参加した上で行われている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		整えている。医療機関との連携は保護者を通して行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	送迎時、必要に応じて電話やメール等で行っている	学校との情報共有が足りていない。現在はこちらから提案することが困難な学校が多い。学校によって偏りがある。下校時間の急な変更などでも伝達されないことが多い。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	高学年向けであるため、就学前の情報共有を行う機会はありませんが、必要に応じて保護者を中心に行う	保護者を通しての情報が多く、なかなか直接情報共有することがまだ難しい
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	現在卒業による移行に際して情報共有を求められる機会はありませんが、必要に応じて行う用意はある	実績はまだほとんどないため、積極的に取組が必要。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	定期的に開催される研修に代表職員が参加し、他職員に情報を共有している	児童発達支援センターとの直接的な交流はまだありません。積極的な情報共有がされていないこともあるため、保護者様に理解をいただき情報共有を進めていけるよう努めていきます。	

連携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	2	3	世相を考慮し徐々に交流を増やして行きたい。公園などでの活動を通して交流をはかっている。	感染症流行以来、交流の場が減ってしまっている。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	5		自立支援協議会には参加できていませんが、議事録をホームページ等で確認しています。他放課後連等には加盟しております。必要に応じて参加する場合があります	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5		連絡帳や送迎時に口頭で、また電話やメール等で共有と話し合いを行っている 保護者とのやり取りはできていると思う	状況の共有はできているが発達は生活上のこまりについてなかなか共有できていない。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	必要に応じて面談の際や、電話、メール等で情報提供を行っている	とくに支援が必要な保護者、家族への研修の機会や参加の意義について伝えることができていない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		運営規定に記載してある内容を記した重要事項説明書を利用時に保護者様へ説明を実施しています。カリキュラム内容についても説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		保護者、本人に聞き取りをおこなっている。 確認の上で了承をいただいている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		特に必要であると考えられる保護者についてなかなか時間の調整などがうまくいっていない部分もある。 面談の機会は充分にあると思う	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	4	保護者参加可能なイベントを開催することはあったが、現在保護者同士での交流を主とする機会を設けられていない。	感染症流行以来行えていない。 保護者間の交流は少ない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		連絡帳やInstagram、チラシ等で発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		必要なものの鍵付きキャビネットでの保管や、不要になったもののシュレッダー処理を徹底している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		視覚支援や、必要に応じて都度説明を行うなどしている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	定期的に地域住民を対象としたワークショップを開いている。 全く知らない地域住民を招待する機会は現在設けられていないが、今後行う用意がある	行事に地域住民の招待はできていませんが、実習生やボランティアの受け入れを実施しております。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各マニュアルに対して研修・訓練をおこなっている。また、訓練等について家族等へも周知している。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		研修・訓練を定期的におこなっている。 行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		必要な連絡方法や対応方法についても保護者と前もって確認している。 確認している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		必要に応じて保護者と話し合い、対応を検討している	保護者から直接きくことがまだ多く、医師の指示書に基づく対応計画がある児童は少ない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		定期的に訓練・堅守をおこなっている。 行っている	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		契約時や、訓練した週などに周知をおこなっている。 周知している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		研修・検討会をおこなっている。 検討している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		研修・対応の情報共有をおこなっている。 行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		必ず事前に説明し了解を得た上で個別支援計画に記載している。 記載している		